

大変な災害が起こりました。アメニティ 2000 協会の会員には京阪神地区に住んでいる人が多く、16 年前の阪神淡路大震災で被災したり、ボランティアとして被災者への支援活動に携わった経験があります。それだけに当時の震災の恐ろしさ悲惨さと重なり、今回の被害はさらに上回る規模であることが明らかになるにつけ皆胸がつぶれるような思いをしています。今私達にできることは何なのか、被災地の町と人の復興に少しでも役立てる道を考えたいと思います。

お知らせ

- ・建物の保存を考える in Tokyo 4月9日(土) 旧前田侯爵邸、日本民藝館
- ・和のこもの展 4月20日(水)21日(木) 草志舎
- ・チャリティ・オープンガーデン 5月10日(火) 宝塚市雲雀丘・正司邸
- ・通常総会 5月28日(土) 草志舎
- ・コウノトリの郷との交流 6月4日(土) 豊岡

東日本大震災被災者支援について

この度の東日本大震災と津波の被害についてはご承知の通り未曾有の災害となりました。まだ混乱が続き、いまだ全体の被害状況すら把握できていません。支援活動はこれからですが、阪神淡路大震災と同様に民間によるより広汎な支援活動が求められています。

私たちの取り組む支援事業としては、当面は「被災して関西に避難している家族への支援」に焦点をあてた活動を検討しています。兵庫県、大阪府、および県下府下の主要市の公営住宅の避難者受け入れ戸数は総数 2,700 戸にのぼりますので、順調に受け入れがすすめば、多くの人たちが関西に在住されることとなります。その方々を対象にした活動としてヴォーリズ六甲山荘への招待や支援コンサートなどを計画していく構想です。

現在まず準備をすすめているのは次の活動です。

- ・アンサンブル・アメニティによる支援コンサート・・・7月23日(土)神戸市内
- そこで当協会としては次のようなお願いをさせていただきたいと思います。

!!あなたのお力をおかしくください!!

- ・支援金の募金を開始しました。
ご寄付いただける方は次のゆうちょ銀行振替口座へお振込みください。いただいた支援金は主として当協会の支援活動に使わせていただきます。
一口 5,000 円 (何口でも可)
口座番号 00950 - 5 36168 名義 特定非営利活動法人アメニティ 2000 協会
- ・支援を実行するスタッフを募集します。
こうした支援活動を企画実行するプロジェクトチームをたちあげます。チームの一員として参加してくださる方を募集します。参加ご希望の方はご連絡ください。
- ・支援先についての情報をお教えください。
支援活動の企画にあたって、会員からの情報をお寄せいただくと有り難いです。

以上アメニティ 2000 協会の力を合わせて実行したいと思っております。ご協力よろしくお願ひいたします。

予告1**チャリティ・オープン・ガーデン at 正司邸**

宝塚市雲雀丘にある正司邸(会員の正司泰一郎さんの自宅)は国有形登録文化財でひょうごの近代住宅 100 選にも選ばれた洋館です。ここを舞台にチャリティを目的としたオープン・ガーデンが開催されます。純益はすべてアメニティ 2000 協会に寄付されるといううれしい企画です。この方式は「ナショナル・ガーデンズ・スキーム」と呼ばれるもので、その内容については「コラム」をご覧ください。

日時: 2011年5月10日(火)午後1時~4時

参加費: 1,000 円(飲み物・クッキーつき)

私たちは当日の受付とお茶を担当します。こちらにもご参加ください。

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。



【コラム】

ナショナル・ガーデンズ・スキームとは

清水 順子

5月10日(火)会員の正司泰一郎さんのお庭が公開されるのは、ご案内している通りです。この案内に「ナショナル・ガーデンズ・スキーム」という耳慣れない言葉が登場しますが、この方式についてお説明いたします。

これは個人の庭を日時をきめて入場料をとって公開し、収益は公益活動をしている団体に寄付するという活動です。来場者は入場料を払って、お茶などのサービスを受けながら、庭の風情を楽しめます。庭の持ち主はご自慢の庭を大勢の人に見てもらえます。公益団体は活動費を寄付してもらえます。という三方満足の企画なのです。

発祥は英国で、1927年に王立看護協会が看護師の支援のために始めたもので、今では公開する庭園は3,500ヶ所、年間3億6千万円もの寄付を行っています。その組織、ナショナル・ガーデンズ・スキームが発行する「イエローブック」(公開される庭園のガイドブック)に掲載されることはガーデン・オーナーにとって大きな名誉、憧れの的になっているそうです。

日本ではこの英国の組織の姉妹団体としてN.G.S. ジャパンが英国と同じチャリティ・オープン・ガーデンを実施し、また英国と日本の庭園文化の紹介などを行っています。平成22年度には15ヶ所の庭園を公開しました。今回の正司邸もこのN.G.S. ジャパンが主催、アメニティ2000協会が共催して行うものです。5月、花の美しい季節です。すてきな洋館と花いっぱいのお庭を楽しみにおいでください。お待ちしております。

予告2

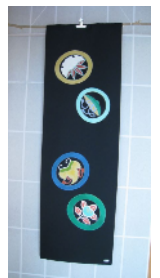
和のこもの展

毎年大好評の和のこもの展です。あしやくローバーのメンバーによる色使いのセンス抜群のこものが並びます。着物地を使った袋物などや季節の押し花の作品など、見て楽しい、使ってうれしい品ばかりです。ご期待ください。当日はお昼ごはんとお茶を出します。こちらのスタッフとしてもご参加お待ちしております。

日時 2011年4月20日(水)21日(木)午前11時~午後3時半

場所 草志舎

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをご覧ください。



連載 私たちの先駆者(第4回)

清水 彬久

大佛次郎<日本のナショナル・トラストの誕生に貢献した文化人> その1

作家大佛次郎(1897~1973)は、「鞍馬天狗」を代表とする時代小説から「帰郷」の現代小説、「パリ燃ゆ」「天皇の世紀」などの近現代史、ノンフィクション・新作歌舞伎・童話・文明批評・随筆までの幅広い分野で活躍する知性派の小説家でした。1964年(昭和39)には文化勲章を受章しています。ここでは、よく知られている小説家の世界でなく、環境保護のオピニオン・リーダーであり、日本のナショナル・トラスト運動に功績のあった文化人としての大佛次郎を紹介します。

1921(大正10)年東京帝国大学法学部を卒業し、鎌倉高等女学校の教師や外務省嘱託を勤めながら創作活動を始めます。1924(大正13)年には処女小説「隼の源次」を発表して、大仏のある鎌倉長谷の近くに住んでいたことからペンネームを大佛とします。そうして終生こよなく鎌倉を愛した人でした。「鎌倉への誘い」において次のように述べています。「鎌倉の山の木々は、新緑の色さまざまの時は、声を揚げて、頂きを目かけ駆け上がって行くような勢を見せる。たくましく精気にあふれたその声は、やはり坂東声であろう。逢坂の関の彼方にはないことである。・・・一度鎌倉の谷戸の奥にある古い寺を訪ねて御覧なさい。静かで草深く、人間の為よりも小鳥や秋の虫の為に在るかに見える。昔の将軍や武將の五輪の石碑が、ここにねむっている。めったに、ここでは立看板を出していない。・・・鎌倉の土地の特徴は、ひだのように山蔭に隠れた谷戸にある。それと裏通りが、現在では他所にないなつかしいものと成った。ここでは、古い田舎と別荘時代の都会とが融け合っている。・・・生垣があり竹垣がある。それも種類と形が様々である。それに古い松の木が枝をひろげ、秋の木犀が匂い、夏の薔薇が花を重ねている。・・・ピアノの音色が木の間から洩れて来る洋館と、古い茅ぶきの百姓家とが並ぶ小さい谷戸、別荘地にひらけたところだから、閑静で、騒々しくない性質を今に失わない。」

この鎌倉への想いは市民共有のものでした。しかし、この歴史の薫りある鎌倉も開発という時代の流れに巻き込まれていきます。1964年鶴岡八幡宮の裏山にあたる風致地区に指定された御谷(おや)を宅地造成する計画が発覚しました。市民にとって、若宮大路から森に包まれた社殿周辺地域の景観は歴史の原形であり、この事態を許容できるものではなかったのです。直ちに、市民から工事中止のための反対運動が起ります。これに対して神奈川県知事は、「法律的に抑止することは難しい。残るは住民の力だけしかない」と、市民自らで解決の糸口を見出しなさいという法律を盾にした発言でした。

この状況を踏まえ、市民は署名運動、陳情、工事の中止活動を勢力的に続けて行きます。この一連の運動に呼応したのが、鎌倉に在住する多数の文化人で、その中心人物が大佛次郎でした。さらに運動は対象不動産の買取のために受け皿を創る運動へと展開していきます。それが同年に設立された財団法人「鎌倉風致保存会」です。この運動は、全国からの反響もあり寄付も集まり、1966(昭和41)年には山林1.5haを15百万円で最初の購入をします。これが日本におけるナショナル・トラスト第一号の誕生となったのです。

国際ナショナル・トラスト機構 (INTO) に加盟しました

2010年度の総会で承認された、ナショナル・トラスト運動の国際的組織である INTO (International National Trust Organisation) への加盟手続きを行い、この度会員証が送られてきましたので、ご披露いたします。

INTO は各国のナショナル・トラスト運動を展開している団体が情報交換や相互支援を行うため 2007年に結成されました。発足時の加盟国は34ヶ国、加盟団体は48団体でした。正会員には英国、オーストラリア、アイルランド、インド、アメリカ、カナダ、韓国、中国、台湾、インドネシア等々の国々が参加しています。2010年9月の国際ワーキングホリデーの参加のあった韓国ナショナル・トラストや台湾環境資訊協会はどちらも INTO の会員です。

これまで私たちの海外事業はタイ・チェンマイ YMCA への教育支援でしたが、今後は INTO の加盟団体との交流もふえてくることと思います。今年の10月にはカナダのヴィクトリアで INTO の世界大会が開かれるとのこと。なお会員証の送り状には東日本大震災についてのお見舞いのメッセージがそえられていました。



ご報告1 歴史的建築物研究会 西宮市夙川地区 2011年3月26日(土)

カトリック夙川教会では熱心に案内をいただき、カリヨンの鐘もつかせてもらって参加者は大喜びでした。山本清記念館では前回の見学がきっかけで国登録有形文化財になったとお礼の言葉がありました。上田安子記念館では会員の上田浩さんの説明をうけました。もともとこの地域はヴォーリス建築の多かったところで、その名残を味わうことのできた一日でした。



お薦めの本

植松三十里 著 「辛夷開花」

黒田 睦子

著者は図書館で手にした、『鹿鳴館貴婦人考』で、旧幕臣の娘、お常こと廣瀬常の存在に心動かされる。1883年建設、コンドル設計の鹿鳴館は文明開化の粋を集めた擬洋風建築だろうか。数年前、赤坂離宮(1909年、片山東熊)を見学する機会に恵まれた私は、フランスのヴェルサイユ宮殿を模したといわれる迎賓館で、鹿鳴館へ思いを馳せた。

本書は2009年から1年間、静岡新聞に連載の、「美貌の功罪」を改題。幕府の崩壊から明治維新への激動の時代を背景に、お常の波乱に満ちた半生を鮮やかに描く。まだ女性の進学が稀な当時、新政府が北海道に開校した女の学校、開拓使女学校へ入学したお常は、各国公使や伊藤博文、大久保利通、黒田清隆などの明治の元勳に交じり、鹿鳴館に登場。類まれな美貌と才覚で多くの男性を魅了した。北海道開拓のお雇い外国人と東の間の恋のあと、新政府の駐英日本公使から後の初代文部大臣として、教育の基礎を築く薩摩の男、森有礼と結婚。媒酌は福沢諭吉で、外交官夫人としてクイーンズ・イングリッシュに磨きをかけ、ロンドンや清国に赴き、西太后やヴィクトリア女王に謁見する。育児と外交に奮闘する日々、またもや異国の若者と恋に落ちて不倫の子を生し、夫と離縁する。

ふたたび辛夷のように花を咲かせ、実をつけることができるのか、恋多き女であり続けたお常の34歳で、著者は筆を措く。
(文芸春秋社) <次回は前野耕作さんにお願ひします>

おしゃべリアラカルト

灘の酒蔵地区を訪ねて

高木 登

2月19日(土)11時、阪神電鉄石屋川駅改札口に集合し、最初に訪れた鉄筋コンクリート造3階建ての御影公会堂が、当時の白鶴酒造の社長であった嘉納治兵衛氏の寄付によって建てられたと知り、この地域の豊かな文化財に対し酒造会社が果たした役割が非常に大きいことを実感しました。

次に訪れた甲南漬の社主旧高嶋邸も公会堂と同じ清水栄二の設計であり、昭和の初期に立てられた瀟洒なデザインの住宅建築が、阪神淡路大震災にも破壊されずに残された貴重な文化財です。

「福寿」の醸造元である神戸酒心館で酒造りの説明と展示物を見学後、「灘泉」の醸造元であり、木造の国登録有形文化財でもある泉勇之助商店では、酒造りの現場を見学して、きき酒もさせてもらいました。しかし、酒造りの仕事をたった二人でしていると聞き、次に訪れた木村酒造が既に廃業しているのを見ると、この店の後を継ぐ人がいなければどうなることかと先行きが心配になりました。

続いて見学した銀行の建物のような菊正宗酒造の本社事務所や、白鶴酒造の大規模な酒蔵群と比べれば、これらの小さな企業が生き残ることは大変難しいことかもしれませんが、今、日本各地で地酒ブームが起こっているように、その店にしかない独自の酒造りに活路を見出して欲しいと思います。

きき酒がとても美味しくて、土産に一本買って帰りました。



御影公会堂

六甲山荘だより

3月12日(土)の作業はスタッフ室の床下、根太の補強と床板の貼り替えでした。大変寒い日で、六甲山上は雪が積もっていて、資材を運ぶ軽トラックが途中で立ち往生。最後は手作業で運ぶという悪条件となりました。足元のわるい雪道を重い板などを運んでくださった皆さん、お疲れ様でした!

31日(木)はスタッフ室の作業の続きと、公開前の大掃除をしました。庭や通路、表の道につもった落ち葉を掃き、部屋の床にはモップかけ、台所も整理しました。驚いたのは台所においてあった食材が食べられていたことです。乾麺やお茶などのポリ袋に穴が開けられ、中身が減っていました。ネズミでしょうか。こんなことは初めてです。さっそく大きな保存箱を買ってきて、食材はそこへ入れることにしました。豊かな自然・・・なのですね。



スタッフ室の床補強

駒井家住宅ニュース

春の公開が始まったその翌週に大震災が起ると、翌日から来場者がぐっと減りました。誰もニュースに釘付けになってしまったのでしょうか。その後来場者のなかに福島から避難してこられた若いご夫婦がおられ、「避難先の弟に勧められて来ましたが、駒井家住宅に来てよかった。今日は心が落ち着きました。」と話されて、対応したスタッフも心が温まるおすそ分けをいただきました。4月上旬は白川疏水沿いの桜並木と近くの銀月アパートのシダレザクラが見事です。お花見がたら、どうぞおいでください。

私たちの手でヴォーリズ六甲山荘を育てましょう!

ヴォーリズ六甲山荘募金報告(目標金額2000万円)

2月の募金状況 40,000円<累計8,974,998円(619名から1,586口)>
会員 40,000円(7名から8口)<累計4,730,670円(438名から942口)>
一般 0円 <累計3,328,745円(199名から663口)>
一般団体 0円<累計81,000円(5団体から16口)>
その他 0円<累計832,883円>

振込口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ2000協会

予告3 2011年度通常総会

2010年度の報告と2011年度の活動内容を決定する大事な総会です。ぜひご出席ください。そのあと会員交流会もいたします。ぜひ出席下さい。

月日 2011年5月28日(土)
場所 草志舎

LPレコードの寄贈を受けました

LPレコードとプレーヤーの寄贈を受けました。バッハ、ヘンデル、モーツァルトなどバロックを中心としたクラシックの、カラヤン、ベーム、コッホなどの指揮による内外の名盤が約200枚そろっています。

これらのレコードはヴォーリズ六甲山荘に置いて活用したいと考えていますが、内容のデータ作成について、ご協力いただける方を募っています。クラシックファンの方、ぜひお声をおかけくださ